

「ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017」への助成支援に伴う横浜市長感謝状の受贈

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、平成29年5月27日から、象の鼻テラス、戸塚区総合庁舎等で開催された「ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017」に対し、開催助成金として300万円を寄贈したところ、これに伴い横浜市長感謝状をいただきました

1. 日時	平成30年1月23日（火）
2. 場所	横浜市庁舎 副市長室
3. 贈呈者	横浜市長
4. 受贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会
5. 受贈物品	「ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017」開催助成に伴う横浜市長感謝状

5. 概要

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、昨年5月27日から、象の鼻テラス、戸塚区総合庁舎等で開催されている「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2017」に対し、開催助成金として300万円を寄贈しました。

これに伴い横浜市渡辺巧教副市長から市長感謝状が伝達されました。

私たち遊技業界は、昭和60年以来33年にわたり、横浜市内をはじめとする福祉施設や各種団体等を支援するため、様々な社会貢献活動を継続してまいりました。その活動の一環として、6年前から、障がいの有無にかかわることなく、文化芸術に接することで、新たな世界を広げてもらいたいとの趣旨で、特別支援学校に通う児童・生徒を「ふれあいコンサート」に招待するなど、教育・文化的事業にも継続的に取り組んでいます。

前回、3年前に開催された「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014」へも支援したところですが、今回も障害者に光を当て、現代アートを通じてその可能性を大きく広げていく創造的な取り組みである「ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017」の趣旨に賛同し、開催を支援させていただきました。

この感謝状受贈の様子は、神奈川新聞、毎日新聞、タウンニュースでも紹介されました。

